

会 議 録

会議の名称	平成26年度 第1回 所沢市地域福祉推進委員会
開催日時	平成26年6月3日（火）10時00分 ～11時55分
開催場所	市役所高層棟7階 研修室
出席者の氏名	中島修（委員長） 神武恭子（副委員長） 内田喜久男 岡村淳子 岡村英雄 小野慎二 小原共子 鬼澤一壽 木村良孝 小室民也 坂口葉子 柴井せん 鈴木四季 村上洋二
欠席者の氏名	広瀬正幸
説明者の職・氏名	（株）地域計画連合 ■■■■■ ■■■■■
議 題	（1）所沢市地域福祉推進委員会について （2）第2次地域福祉計画の策定について （3）その他
会議資料	<p>【配布資料】</p> <p>資料1 所沢市地域福祉推進委員会条例（写し）</p> <p>資料2 所沢市地域福祉計画について</p> <p>資料3 平成26年度 計画策定スケジュール</p> <p>資料4 市民ニーズ調査実施方針</p> <p>〔参考資料〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（冊子）所沢市地域福祉計画 ・次期地域福祉計画に向けての提言 ・（冊子）第3次地域福祉活動計画 in 所沢（ところWITHプラン） ・委員名簿
担当部課名	<p>福祉部 福祉総務課 地域福祉推進室</p> <p>電話04（2998）9113</p> <p>福祉部次長 玉川 明男 福祉総務課長 北田 裕司</p> <p>福祉総務課主幹 池田 康徳 福祉総務課主査 佐藤 尊之</p> <p>福祉総務課主任 加賀屋 浩介 福祉総務課主任 小古井 一樹</p> <p>福祉総務課主任 石平 貴浩</p>

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
<p>事務局 (池田主幹)</p>	<p>1. 開 会 開会を宣言した。</p> <p>2. 委嘱状の交付 各委員に委嘱状を交付した。</p> <p>3. あいさつ</p>
<p>玉川次長</p>	<p>所沢市では、10ヶ年の計画として、平成17年3月に地域福祉計画を策定し、その推進を図ってきた。今年度は、その最終年度にあたることから、新たな生活困窮者の問題等を踏まえ、次期計画の検討を行う。委員の皆様には、健康にご留意いただきながら、益々のご活躍を期待すると共に、この度の計画策定にあたり、ご協力を賜りたい。</p> <p>○委員等の自己紹介 各委員より、自己紹介を行った。 次に事務局より、職員の紹介及び委託業者の紹介を行った。</p> <p>○委員長・副委員長の選出 ～委員の互選により委員長・副委員長を選出し、承認を得た～ 委員長：中島委員 副委員長：神武委員</p> <p>○委員長・副委員長あいさつ</p>
<p>中島委員長</p>	<p>一昨年度までは、厚生労働省に出向しており、地域福祉専門官として務めてきた。近年、地域福祉を取り巻く法制度等が大きく変化しており、それらを踏まえた地域福祉計画を考えていければと思う。</p>
<p>神武副委員長</p>	<p>委員長のサポート役として努めていきたい。どうぞよろしくお願ひしたい。</p> <p>○会議の運営方法に関して ①会議の公開・非公開、②会議録の記録方式、③会議録の確定について、それぞれ、全委員の承認に基づき、下記のとおり決定した。</p> <p>①会議の公開・非公開について（原則、公開とする） ②会議録の記録方式について（発言者名は公開とし、要約方式で記録する） ③会議録の確定について（委員長に署名・承認を得て、確定する）</p>

	<p>○会議に関する説明・資料の確認</p> <p>下記事項の説明を行い、その後、資料の確認を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議の終了予定時刻（12時00分） ・ 本日の委員会における委員・事務局以外の参加者（傍聴者1名、報道機関0名）
	<p>4. 議 題</p> <p><u>(1) 所沢市地域福祉推進委員会について</u></p>
事務局 (佐藤主査)	<p>事務局より、資料1に基づいて説明を行った。</p> <p>(委員からの質問なし)</p>
	<p><u>(2) 第2次地域福祉計画の策定について</u></p>
事務局 (佐藤主査)	<p>まず、地域福祉計画の概要と、今年度の想定スケジュールを踏まえた第2次計画の策定について、資料2～3に基づいて説明を行った。</p> <p>以下、質疑等</p>
小室委員	<p>この度の委員会は「地域福祉推進委員会」という名称になっているが、別に「地域福祉推進検討委員会」という会議体がある。役割の違いをご説明いただきたい。</p>
事務局 (佐藤主査)	<p>「地域福祉推進検討委員会」は、現行計画の進行管理を主に担う委員会として組織したものである。今回、新たに条例として定め、本日より皆さまにご参加いただく「地域福祉推進委員会」においては、第2次地域福祉計画の策定に関することと、策定後の進行管理についても役割として担っていただくものである。</p>
中島委員長	<p>第2次計画の策定にあたり、特に、生活困窮者自立支援制度については、モデル事業の取り組みが進んでいる。また、認知症高齢者の増加や子どもの貧困、また、貧困の連鎖、といった問題も生じてきている。今後、そのような内容への対応を、計画に盛り込んでいく必要があると考えている。</p>
事務局 (佐藤主査)	<p>続いて、今年度の第2次計画策定のプロセスの中で、最初に行う予定の市民アンケート調査に関し、資料4に基づいて説明を行った。</p> <p>以下、質疑等</p>
鬼澤委員	<p>アンケートの回収率を上げるために、回答者に対する謝礼などは想定しているのか。</p>
事務局 (佐藤主査)	<p>謝礼などは想定していないが、概ね5割程度の回収率を見込んでおり、統計的には問題ない数になると想定している。</p>

岡村(英)委員	<p>現行計画策定時の調査との比較として、どのような想定をしているのか。また、前回は子ども向けのアンケートも実施していたが、今回はいかがか。</p>
事務局 (佐藤主査)	<p>現行計画策定時の調査においては、広く様々な意見を集める中で、市民団体や関係機関などに加えて、子ども向けのアンケートも実施した。今回は、所沢市社会福祉協議会（以下、所沢社協）の地域福祉活動計画（以下、活動計画）の策定において、子どもとその保護者向けの調査を実施予定であり、その結果を参考にしたい。また、調査対象の年齢設定については、ご指摘いただいた視点も踏まえ、検討したい。</p>
中島委員長	<p>地域福祉計画と活動計画とで、連携した策定を進める上で、双方の調査内容を活用することは、重要である。</p>
小野委員	<p>高齢者・障害者などが地域福祉における支援の主な対象者として考えられているが、実際には、健康でいたいと願い、設備が整わないなどの環境下でも懸命に活動している元気な高齢者がたくさんいる。そのような活動者に対して、活動上の悩みなどを聞いてみることも有効だと考える。</p>
鈴木委員	<p>設問の構成の中で、権利擁護に関する設問は、どこかに入ってくるのか。</p>
事務局 (佐藤主査)	<p>調査の柱の一つとしている「（仮称）総合福祉センター」には、福祉に関する総合相談窓口を設ける予定であり、権利擁護相談も扱う予定である。この柱の部分で扱うかどうかも含めて、関連した設問構成を考えたい。</p>
内田委員	<p>今回の計画は6年スパンにするとのこと、他の計画との連携を考慮されていて、良いと思う。活動計画の策定に際し、7～8月に行う予定の地区別懇談会は、どのように開催する予定なのか。</p>
岡村(淳)委員	<p>所沢社協では、7月下旬から、市の方にもご参加いただき、土曜・日曜での開催を想定している。住民の方がどなたでも参加できる形式で、皆さまの意見を広くお聞きする機会としたいと考えている。</p>
中島委員長	<p>委員の皆さまも、ぜひ、それぞれの地域の懇談会にご参加いただきたい。私も、一市民として参加してみたい。また、計画期間についてのご意見をいただいたが、福祉分野の各個別計画の策定期間がそろそろことを踏まえ、連携を意識し、年次を合わせることは望ましいと思う。</p>
小原委員	<p>災害時要援護者の支援に関して、要援護者の名簿が作成されているが、地域においては、個人情報上の制約もあり、自治会・町内会との連携の中で、十分な活用がされていない傾向も見受けられる。実効性を上げるためには、計画を作るというだけでなく、市が</p>

	ら指導等の働きかけも必要ではないか。
事務局 (佐藤主査)	計画を作るだけでなく、その後、どう進めていくかが重要だと考えている。大事なご提案として承りたい。
坂口委員	昨年度、地域包括支援センターが主催する地域ケア会議を中心にして、高齢者生活支援パンフレット（買い物支援マップ）を作成し、地域ごとに、サロンやお達者倶楽部などの、地域の資源を地図にまとめた。地域ごとに特徴があり、課題意識なども様々だと思うので、全14地域包括支援センターからの意見も吸い上げられるようにしていただきたいと感じている。
中島委員長	地域福祉計画を考える上では、様々な構築された地域のネットワークとの連携を図りながら進める視点が大事だと思う。
柴井委員	調査においては、高齢者や障害者などを対象にした様々なサークル活動を行っている団体も対象にしてはどうか。活動の現場の中で、広く市民向けに行うアンケートからは得られないような状況なども聞けるのではないかと思う。
中島委員長	大切な視点であり、関係団体へのヒアリングの中に含めることができればよいと思う。
鬼澤委員	昨年度、「『所沢を動かす！』みんなのアイデアコンテスト」で、高齢者に関する提案（大規模団地・大規模マンション等における独居老人の見守り対策）が出されていた。その結果については、地域福祉推進検討委員会の「次期地域福祉計画に向けての提言書（H26.3.19）（※以下「提言書」）」に反映されているのか。
事務局 (佐藤主査)	「提言書」はあくまで地域福祉推進検討委員会内での議論をまとめたものであり、直接には反映されていない。アイデアコンテストで提案された内容については、詳細を次回までにご紹介したい。
木村委員	現行計画の総括として、過去10年間分の検証は行わないのか。
事務局 (佐藤主査)	現行計画の期間の中では、3年ごとに見直しを図りながら、計画の進捗を管理してきた。今回の「提言書」は、「次期地域福祉計画に向けて」としており、昨年度末の時点で、これまで地域福祉を推進してきた中での課題としてまとめたものが、内容として集約されていることから、それが検証となっていると考えている。
神武副委員長	私は、現行計画の策定時から関わっているが、その時ごとに求められるニーズも踏まえ、3年ごとに見直し・評価を実施してきた。現行計画の進行管理にあたっては、毎年

<p>中島委員長</p>	<p>度、全庁的に照会を行い、事務局でも相当な労力をかけて実施してきた。「提言書」の内容については、地域福祉推進検討委員会の中で、議論を重ねてきた結果として、ご覧いただければと思う。また、今回の策定にあたっては、会議の回数に限られているため、十分な議論ができるかが心配である。各回の内容も含め、この委員会がどのように策定に関わっていくかについて、共通認識を図る必要があるのではないか。</p> <p>今回は、現行計画がある中で、これまでの取り組みも踏まえての策定となる。1年というタイトなスケジュールではあるが、事務局としては、今回提示されたスケジュールで進めたいと想定しているものと理解している。</p>
<p>村上委員</p>	<p>障害者支援計画との関係も含め、他計画との整合性について考慮する必要がある。また、可能であれば、教育の現場で、先生たちが、地域に対してどのようなことを希望しているのかを聞いてみたい。関係団体ヒアリングなどを通して、聞いてもらうことができればよい。</p>
<p>小室委員</p>	<p>関係団体へのヒアリングに関しては、高齢者や障害者などだけでなく、地域における担い手である元気な人や、企業の事業者なども対象にするとよいのではないか。できるだけ幅広く、地域全体の構成主体を捉えて、実施するのがよいのではないか。</p>
<p>中島委員長</p>	<p>アンケートにおいても属性を把握するので、地域のそれぞれの立場からの声を分析できるかと思うが、一方で、できるだけ幅広く、地域全体を捉えて、把握されたいという点は、貴重な意見として承りたい。</p>
<p>事務局 (佐藤主査)</p>	<p>(3) その他</p> <p>事務局より、以下の予定等について説明を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回委員会は、9月1日(月)を予定している。 ・地区別懇談会は、7月下旬より市内11地区で開催予定である。 ・7月27日(日)に、「地域福祉市民フォーラム」と題して、中島委員長による基調講演及びパネルディスカッションを予定している。
<p>中島委員長</p>	<p>このような計画は、策定当初と比べ、2期目以降は市民の関心が下がりやすい傾向にある。そのため、このようなイベントの実施なども含めて、市民の意識を喚起していきたい。また、活動計画と連動した形での策定を進めていきたい。</p> <p>では、本日の議題についてはすべて終えたので、事務局にお返りする。</p>
<p>事務局 (池田主幹)</p>	<p>5. 閉 会</p> <p>閉会を宣言した。</p>